

## カンガルーシップについて

全附連（全国国立大学附属学校 PTA 連合）から支払われる「カンガルーシップ助成金」に申請したところ、11月末に「理解」「共生」両部門において支給が決定しました。これは、全附連の特別支援学校を対象に「理解」「共生」をテーマにした PTA 活動に対し、審査のうえ支給されるものです。

「理解」については「ボランティア養成講座(平成 23 年度)」、「共生」については「他県の特別支援学校との交流」で本田会長が申請していたものです。

年度内活動についての助成ですので、以前から九附連会長・副会長会や親睦球技(バレー)大会などで交流のあった熊本附属特別支援学校さんへの訪問という形をとらせていただき、本年度は終了しています。来年度以降も申請はしていく予定ですが、審査形式ですので毎年支給されるかは不確実です。今回は、本年度の報告をご覧ください↓



## 熊本大学教育学部附属特別支援学校にお邪魔しました(^O^)/ 2/23(木) ~三役にて~

熊本は隣だけど遠い…朝 7 時に自宅を出発、子どもを 7:20 には学校へお願いし、高速道で 3 時間、熊本市内にある熊本附特さんへお伺いしました。

最後に  
ナスは見た!



リポーター  
：ナス



校舎は大学の目の前にあり  
平坦地・便利地

**熊**本大学教育学部の前、道路を 1 本挟んだだけの向かい側に、熊本附特学校があります。平坦地で便利地、車で周囲を回っただけでもため息が出る敷地の広さでした。年度末のお忙しい時期にもかかわらず、副会長の風間さん・合志(こうし)さん・全附連副会長の岡山さん(熊本附属小学校)、後援会長の大竹さん(熊本附特卒業生保護者)がご一緒に下さいました。

**学**校は耐震・補修工事中。児童生徒に対し細心の注意を払いながらの工事だそうです。現在は体育館を新造中で、小学部の給食室や食堂などを含む校舎の半分が改修中でした。

教頭先生の案内で見学させていただいた授業は「お別れ会のリハーサル」など、年度末ならではの内容が中心でした。児童生徒のみなさんは無垢な表情で、それぞれ一心に頑張る姿が印象的でした。一緒に案内して下さった風間さんは、小学 6 年生のお母さん。「お別れ会」練習中の体育館では、発表が終わったお子さんがしきりにこちらを凝視…「気になるよね~(笑)」



↑本校からのお土産、  
寄書き・高等部の製品など。  
ご協力ありがとうございました♪



縫工室。さのりの織機が  
たくさんあります

**素**敵だったのは高等部 3 年生の「卒業パーティ」の練習。「全然練習できてないけど、実は明日なんですよ~」と苦笑いの先生によると、高等部 3 年生は、保護者・先生とともに市内のホテルで夜に「卒業パーティ」をするのが恒例だとか。このパーティでは、卒業生が自分たちの生き立ちを写真付きのスライドで紹介するコーナーがあるのですが、保護者には内緒のサプライズ「親への感謝状授与式」もあるそうなんです！誕生から保育園・小学生・中学生・高校…と成長する写真をバックに「お父さん、お母さん、こんなに小さ

中学部の木工製品・すのこ↓  
くまモンがかわいい♪



高等部製作の  
折畳みテーブル&ベンチ↑  
「外部の受注が多い」と教頭先生

かった私が…」と読み上げる女の子を見て、田崎さん号泣…！感動ですね(\*^\_^\*)

**ま**た、校舎内見学では作業室もじっくり見せていただきました。こちらの学校では中学部では木工・陶工・印刷、高等部では縫工・木工・陶工の作業学習があり、年間を通して大学生協にも製品が置かれ、光の森など、校外も含めて年に3回の販売会もあるそうです。(光の森…菊陽町にある大型ショッピングモール)

いただいたお土産の中には中学部の印刷班製作のカレンダー・メモ・シールなど、すべてに子どもたちのイラストが入っていました。学校の先生方、育友会役員の名刺もすべて印刷班の製作によるものだそうです。製品が使われる場面を目にすることが多いと、子どもたちにとっても励みになりますよね。



いただいたお土産の数々。  
陶工のフリーカップや  
さわりの髪飾り・ストラップも↑



**校**舎内の清掃作業員の方は、実は卒業生。10名以上の障がい者の方が、熊本大学と関連施設に採用されているそうです。その姿にあこがれを持つ在校生もいるそうで、魅力的な就職先になっているようでした。

←ユニフォームや清掃道具一式の入ったカートがあこがれの的だそう…



陶芸は種類も色も豊富でした→

**午**後からは熊本附特の方々が準備して下さった食事会。現・新役員さんも集まって下さり、総勢13名で楽しいひと時になりました。ほとんどが初対面の方でしたが、同じ「障がい児の親」という立場だからかすぐに打ち解けられ、お互いの学校の違いに驚いたり、子どもの似たような行動に爆笑したりとあっという間の2時間に。本田会長は周囲に気を遣い過ぎて食べる暇がなく、コース料理のお皿はどんどん溜まっていくのでした…(^~^)

**今**回の交流について、全附連の岡山副会長からは「大学との関係が希薄になりつつある昨今だからこそ、学校をこえた特支の保護者同士の交流は大変意味深い活動」と評価、大竹後援会長からも「これで終わりじゃなくて1回目。次はバレー大会で子どもたちを交流させたらどう？」と熱い励ましのお声をいただきました。

往復6時間超の運転をした本田会長は心身ともに疲れきったと思いますが、手ごたえのしっかり感じられる、濃密で有意義な交流でした。



熊本附特の現・新役員さん、  
全附連副会長・岡山さん、後援会長・大竹さん  
ありがとうございました!!

